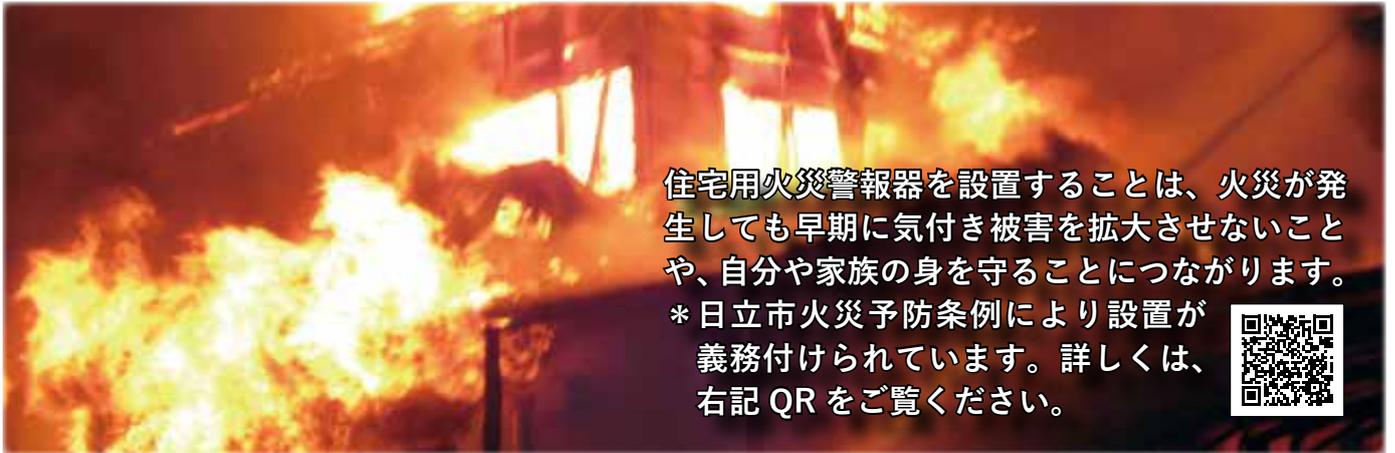


自分や家族の身を守るために

住宅用火災警報器（煙式）は設置義務があります



住宅用火災警報器を設置することは、火災が発生しても早期に気づき被害を拡大させないことや、自分や家族の身を守ることにつながります。

* 日立市火災予防条例により設置が義務付けられています。詳しくは、右記 QR をご覧ください。



住宅用火災警報器設置場所



取付ける場所は？

設置が義務付けられている場所

- 寝室（子供部屋などでも寝室として使用している場合は対象）
- 寝室がある階の階段部分（1階は除く）

設置を推奨する場所

- 台所



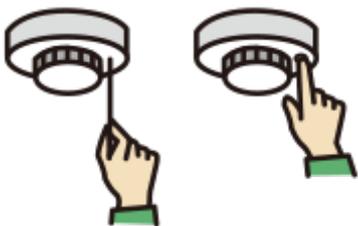
設置する位置は？

- 天井に設置する場合は、壁・はりから 60 cm 以上離れた部分
- 壁に設置する場合は、天井から下方 15 cm 以上 50 cm 以内の部分

住宅用火災警報器点検方法

設置してある場合は、定期的に点検を実施し、正常に動作しないときは交換しましょう。

① ひもを引くまたは ボタンを押す



② 音がなるかチェック



正常な場合

正常を知らせるメッセージまたは火災警報音になります。

音が鳴らない場合

電池切れか機器の故障です。

住宅用火災警報器は、**概ね 10 年を目安**に本体を交換しましょう!



火災を起こさないことが一番重要となりますので、「住宅防火いのちを守る 10 のポイント」（右記 QR）を参考に火災のないまちづくりにご協力ください。

問合せ 予防課 ☎ 24-0119



【イラスト（一部）】

出典：（一社）日本火災報知機工業会 HP 資料

日立市役所 〒 317-8601 助川町 1-1-1 ☎ 22-3111 IP 050-5528-5000

熱中症は予防が大事！

熱中症に注意しましょう



昨年は、熱中症で66の方が救急搬送されました。仕事や運動をしているときだけでなく、**就寝中など室内にいても熱中症になることがあります。**特に高齢者、乳幼児は注意が必要です。また、高温多湿の気象条件がそろると、体内の水分と塩分のバランスが崩れ熱中症になりやすくなるので注意してください。

熱中症を予防するためには

- 外出時は帽子や日傘で直射日光を避ける
- こまめに水分補給を行う
- 暑さが避けられない場所で長時間の運動や作業をしない
- 適度に休憩を取り、体調が悪いときは無理をしない
- 閉めきった車内は高温となりやすいため、わずかな時間でも絶対に子どもだけを残して車から離れない
- 家の中でも無理に暑さを我慢せず、エアコンや扇機を使う



- 気温、湿度が高い中でマスクを着用すると熱中症のリスクが高くなるおそれがあるので、周囲の人との距離を十分に取り、適宜マスクをはずして休憩する

熱中症の応急手当

- 衣服を緩めて楽にする
- 風通しのよい日陰や、冷房が効いた場所へ移動する
- ぬらしたタオルや氷のうで体を冷やす
- 自分で飲めるようであれば水分補給を行う
- 意識がはっきりしない、水が飲めない、皮膚が赤く汗が出ない、呼吸が浅いなどの症状がある場合は、すぐに救急車を呼ぶ

* 熱中症は命に関わる場合があります。体調が悪くなったら早めに医療機関で受診してください。

消防医療情報問合せ ☎ 22-4199

応急手当に関するアドバイスや、診療可能な医療機関を案内しています。

問合せ 警防課 ☎ 24-0119

シリーズ防災⑳

問合せ 防災対策課 ☎ 内線 728

人的被害ゼロを目指し

坂下地区に洪水避難タワーを整備しました

久慈川・茂宮川洪水時に、逃げ遅れた方の人的被害をなくすことを目的として整備しました。緊急時に浸水から一時避難できる高台として利用できます。

名称 神田町洪水避難タワー

場所 神田町 1082-1

(常磐自動車道日立南 IC の南側)

使用想定 久慈川・茂宮川洪水時、事前に避難できなかった周辺地域住民等が、階段またはスロープを上り、2階の退避所(地上高7m)へ緊急的に避難することを想定しています。

注意事項 タワー入口は、鍵がかかっているため、緊急の際、入口ドアのケイカル板部分*を破ってタワーの中に入り、2階の退避所に上がってください。*ケイカル板とは、比較的やわらかい建材。



避難階段も整備！



久慈川日立南交流センターには、緊急時一時避難をするため、屋上への避難階段を整備しました。

災害時は早めの避難が大切です。日頃から周囲の危険箇所をチェックし、安全な避難場所や避難経路を検討しておくなど、いつ起きるか分からない災害に備えておきましょう。